

第1表

6日三小発第107号

令和7年3月4日

日野市教育委員会 様

学 校 名 日野市立日野第三小学校

校 長 名 桐 井 裕 美
(公印省略)

令和7年度教育課程について(届)

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

- よく考える子ども(知識技能、思考力・判断力・表現力等を身に付け、意欲的に学ぶ子供「問題解決力」、「学力向上」)
- ◎ 思いやりのある子ども(自己を律し、他と協調して、命を大切にする子供「人間関係形成力」)
- 体をきたえる子ども(自らの健康増進・体力向上に努め、運動に親しむ子供「実践力」)
- 最後までやりぬく子ども(苦難や逆境を乗り越えて人生を自ら創造していく子供「実践力」)

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア よく考える子ども 「問題解決力」を育成し、「学力向上」を図るために
- ・学習規律の徹底、学習意欲の向上を図り、学習内容の基礎・基本を確実に習得させ、学習の基盤を構築する。
 - ・全教育活動において、めあてを設定し振り返りを実施する。各教科等の見方・考え方を働かせる授業展開の工夫を行う。
 - ・「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善を「授業のユニバーサルデザイン」を基に徹底する。
 - ・校内研究にて取り組む特別活動を重点に、思考力・判断力・表現力等の育成を重視した授業展開を図る。
 - ・生活科・総合的な学習の時間等において探究過程を重視した、横断的・総合的な学習の充実を図る。
 - ・授業改善を図るための指導と評価の一体化及び評価の「妥当性」、「信頼性」、「情報共有」の実現を図る。
 - ・一人1台学習者用端末を効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
 - ・学校図書館司書との連携を通して読書・学習・情報センターとしての図書館機能及び学習活動の充実を図る。
- イ 思いやりのある子ども 「人間関係形成力」を育成するために
- ・「人権教育プログラム」を活用し、「自分も人も大切に生きて生きる」人権教育を組織的・計画的に推進する。
 - ・道徳科を要に、日常生活の振り返りを重視した授業展開及びカリキュラム・マネジメントの充実を図る。
 - ・「いじめ防止基本方針」を基に「学校いじめ対策委員会」を核とした組織的対応の徹底を図る。
 - ・生命(いのち)の安全教育の実施及び情報発信の充実を図る。
 - ・教職員共通理解の下、協力体制・指導体制を構築し生徒指導提要进行を踏まえた自己指導能力の育成を図る。
 - ・関係機関と連携した組織的対応、ICTの活用により不登校対策の強化を図る。
 - ・安全教育及び交流活動を基に、自ら考え、判断し、行動する児童主体の教育活動を実施する。
 - ・組織的な支援体制を構築する校内委員会の充実を図る。
- ウ 体をきたえる子ども 「実践力」を育成するために
- ・豊かなスポーツライフに向けた授業改善、運動習慣定着のために、体力向上週間の充実を図る。
 - ・外部講師を招聘した本物に触れる体験授業を実施し、運動の楽しさや体を動かす心地よさを体得する。
 - ・家庭・地域と連携したがん教育、性教育、食育を推進する。
- エ 最後までやりぬく子ども 「実践力」を育成するために
- ・生活科・総合的な学習の時間、特別活動を基に、地域・社会をよくするための活動を推進する。
 - ・小中9年間の学びの連続性を意識した教育活動の充実を図り、将来への見通し、夢や目標に向かって取り組む基盤を構築する。
 - ・幼稚園・保育園と互恵性を高める連携及びスタートカリキュラムの充実を図る。
 - ・地域人材・保護者ボランティアの活用を促進し、安全教育、福祉教育の充実を図る。
 - ・SDGsカレンダーを基に、年間を見通した体験型の授業実践の充実を図る。

2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- ・週ごとの指導計画を基に、教育課程の適正な進行管理、妥当性・信頼性のある評価を行う。
- ・学習規律の徹底、めあての設定と振り返りの実施、板書の構造化により、学力の向上を図る。
- ・焦点化・視覚化・共有化等、「授業のユニバーサルデザイン」を基に、個に応じた授業展開を図る。
- ・国語月間・算数月間を設け、朝学習時に反復学習、読書、フリートークを実施し、基礎学力、読書量、対話力の向上を図る。
- ・GIGAワークブックとうきょうを活用し、情報モラルの意識を向上させ、「個別最適な学び」、「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
- ・学校図書館の読書センター・学習センター・情報センター機能を向上させ、知識の取得、探究課題解決への反映を図り、主体的な学びとする。
- ・体育科授業にて基本的な技能を身に付け、運動に親しみ、心身の健康を保持し、体力向上を図る。
- ・体力向上週間、運動発表会に向け、年間を通して、約束を守り助け合い運動する態度を育成する。
- ・ALT、外国語講師と連携し、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。
- ・ことばの教室「たんぼぼ」、リソースルームと連携を図り、個の課題を解決する指導方法を工夫し、基礎学力や学習方法を習得させる。

イ 特別の教科 道徳

- ・「自分も人も大切に生きて生きる」人権教育を基に、「生命の尊さ」、「親切、思いやり」の心を育む。
- ・児童の実態から教科横断的な視点にて授業を組み立て、自己を見つめ生活を振り返る時間とする。
- ・対話を通して、物事を多面的・多角的に考え、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

ウ 外国語活動

- ・ALTと連携し、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- ・外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

エ 総合的な学習の時間

- ・学校や地域などから、身近な問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を育成する。
- ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、家庭・地域・社会をよくするための活動を推進する。
- ・安全学習を系統的に意図的・計画的に取り入れ、地域に愛着をもち貢献する実践力を高める。

オ 特別活動

- ・校内研究を基に、児童主体の対話や活動を重視し、発達段階に応じた合意的形成、意思決定を行う力を育成する。
- ・集団生活に自主的・実践的に取り組み、集団の一員として望ましい行動の仕方を身に付けさせる。
- ・「なかよし班活動」や学級活動、児童会活動、学校行事などにおいて、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を養う。
- ・「キャリア・パスポート」などを活用し、夢や目標に向けて取り組んだことを振り返り、自己の成長を実感させ、自尊感情・自己肯定感を高めることにより、自己実現を図ろうとする態度を養う。

(2) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・多様性を認め合い、一人一人の生命の尊さ、生きていくことのすばらしさを実感させる活動を充実させ、規範意識及び生活規律の向上を図り、望ましい集団生活を構築する。
- ・生命（いのち）の安全教育、日常的なＳＯＳの出し方に関する教育を推進し、生命尊重及び互いを大切にする心情を育成する。
- ・「人権教育プログラム」を適切に活用し、全教職員の人権感覚を磨くための校内研修の充実を図り、児童の他者意識や他者理解力を育成し、児童一人一人の人権感覚を高める。
- ・「自分も人も大切にして生きる」人権教育を推進し、児童自ら主体的に行動し、粘り強く目標を達成する、課題解決の具現化を図る取組を実施する。
- ・生活指導提要の趣旨を踏まえ、児童の自己指導能力を育成するため、学習指導と生活指導とを関連付けた指導の充実を図る。
- ・出席状況調査を活用した児童へのきめ細かな状況把握を行い、関係機関と連携した組織的対応、ＩＣＴを活用した学びの支援により、不登校の未然防止、早期発見、長期化への対応を強化する。
- ・児童に暴言・暴力等「いじめを許さない」強い意識を醸成するため、「学校いじめ対策委員会」を核とした組織的対応を徹底する。
- ・いじめの未然防止、早期発見、早期対応を組織的に行うため、定期的に情報配信を行い、学校・家庭・地域における「学校いじめ防止基本方針」の理解及びその具現化を図る。
- ・「生命（いのち）の安全教育」の教材・指導の手引きを活用し、児童の発達段階に応じた、計画的な生命（いのち）の安全教育を実施し、家庭・地域へ情報発信を行う。
- ・年11回以上の避難訓練の実施及び日常的・定期的な安全指導の充実を図るほか、「セーフティ教室」、「薬物乱用防止教室」、「災害体験者から学ぶ教室」を実施する。
- ・「安全教育プログラム」、「防災ノート～災害と安全～」、「東京マイ・タイムライン」等の活用を図り、生活安全・交通安全・災害安全の指導の充実を図る。
- ・特別支援教育コーディネーターを要とし、組織的対応及び課題解決を図るため、校内委員会における運営の改善を図る。

イ 進路指導

- ・学校行事、委員会・クラブ活動等において児童一人一人のよさや可能性を生かす場を設定し、課題解決や自己の目標達成に向けて意欲的に取り組む実践力を育成する。
- ・幼保小中連携教育を推進し、大坂上中学校区の保育園・幼稚園、小中学校及び特別支援学校との交流の充実を図り、将来への見通し及び、夢や希望をもって生きていく態度を育てる。
- ・地域人材や社会人講師を招いた学習を通して、望ましい職業観・労働観を育成し、自己の選択による生き方、自分らしい生き方の実現を目指す。

(3) 特色ある教育活動

- ・「安心できる学校」プロジェクトの具現化に向け、「ひのスタンダード」に基づく、学校環境の整備及び基礎・基本を重視した教育を推進し、全ての児童が居心地のよい学校づくりを目指す。
- ・コミュニティ・スクールとして、学校支援ボランティアの充実等、学校・家庭・地域にて情報共有及び交流を図り、互いに支え合う「みんなのための みんなの学校」をつくる。
- ・人権の花の取組等、学校内外の環境整備の充実を保護者・地域とともに推進する。
- ・児童が主体となり、保護者・地域とともにつくる「防災デー」、「放課後防災デー」を実施する。
- ・福祉教育ハートフルプロジェクトを実施し、児童が互いを知り、認め合い、他者のために何ができるか自ら考え判断し行動する福祉教育を推進する。
- ・学校2020レガシーの取組を継続し、礼法や和太鼓の学習、障害者理解教育の充実を図る。
- ・特別支援学級、ことばの教室「たんぼぼ」、特別支援教室、リソースルーム等との情報共有の充実を図り、「個別最適な学び」、「協働的な学び」を推進する。

第3表

学校名 小 03 日野市立日野第三 小学校

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

[illegible]

(2) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動の年間授業時数配当表

領域		1	2	3	4	5	6
各教科	国語	306	315	245	245	175	175
	社会			70	90	100	105
	算数	136	175	175	175	175	175
	理科			90	105	105	105
	生活	102	105				
	音楽	68	70	60	60	50	50
	図画工作	68	70	60	60	50	50
	家庭					60	55
	体育	102	105	105	105	90	90
	外国語					70	70
	小計	782	840	805	840	875	875
特別の教科 道徳		34	35	35	35	35	35
外国語活動		(5)	(5)	35	35		
総合的な学習の時間				70	70	70	70
特別活動	学級活動	34	35	35	35	35	35
	クラブ活動				(16)	(16)	(16)
	委員会活動					(11)	(11)
総計		850	910	980	1015	1015	1015
備考	・1単位時間45分。 ・第1学年はスタートカリキュラム年間14時間15分を余剰時間で21時間30分を教科等の時間に位置付けて実施する。 ・クラブ活動(60分)と委員会活動は、総授業時数外で実施する。クラブ活動は60分授業とし、12回で16時間。 ・総合的な学習の時間の名称は、総合的な学習の時間とする。 ・第1学年、第2学年は年間5時間の外国語活動を余剰時間で実施する。						

第4表の1

学校名 小03 日野市立日野第三小学校

4 学 校 行 事

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
1	火		木		日		火		金		月	
2	水		金	避難訓練(引き渡し)	月		水		土		火	社会科見学(5)
3	木		土	憲法記念日	火		木	日光移動教室始(6)	日		水	
4	金		日	みどりの日	水		金		月		木	避難訓練
5	土	春季休業日終	月	こどもの日	木		土	日光移動教室終(6)	火		金	演劇鑑賞会
6	日		火	振替休日	金		日		水		土	学校公開 道徳授業地区公開講座
7	月	始業式 入学式	水		土		月	振替休業日	木		日	
8	火	給食始(2~6)	木		日		火	安全指導	金		月	振替休業日
9	水	定期健康診断始	金		月	避難訓練	水	避難訓練	土		火	安全指導
10	木		土		火	開校記念日 安全指導	木		日		水	
11	金		日		水		金	SOSの出し方に関する教育(5)	月	山の日	木	
12	土		月		木		土		火	閉庁日始	金	
13	日		火	安全指導	金		日		水		土	
14	月	給食始(1)	水		土		月		木		日	
15	火	安全指導	木	自転車安全教室(3)	日		火		金	閉庁日終	月	敬老の日
16	水		金	社会科見学(6)	月	八ヶ岳移動教室始(5)	水		土		火	
17	木	国学調(6)	土		火	八ヶ岳移動教室終(5)	木	給食終	日		水	
18	金	避難訓練	日		水		金	終業式	月		木	
19	土		月		木		土		火		金	
20	日		火	定期健康診断終	金		日		水		土	
21	月	市学調(5) 家庭訪問始	水		土		月	海の日 夏季休業日始	木		日	
22	火		木		日		火		金		月	
23	水	交通安全教室(1・2) 家庭訪問終	金	学校公開日始 セーフティ教室	月		水		土		火	秋分の日
24	木	個人面談始	土	学校公開日終	火		木	夏季学習会始	日	夏季休業日終	水	
25	金		日		水		金		月	始業式	木	
26	土		月	振替休業日	木		土		火	給食始	金	
27	日		火		金	校外学習(3)	日		水		土	
28	月	個人面談終	水	体力テスト始	土		月		木		日	
29	火	昭和の日	木	体力テスト終	日		火		金		月	
30	水		金		月		水	夏季学習会終	土		火	
31			土				木		日			

第4表の2

学校名 小03 日野市立日野第三小学校

月	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
日	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
1	水		土	東京都教育の日	月		木	元日	日		日	
2	木		日		火	避難訓練	金		月		月	避難訓練
3	金	避難訓練	月	文化の日	水		土		火	避難訓練	火	
4	土		火		木		日		水		水	
5	日		水		金		月		木		木	
6	月		木	生活科見学(1、2)	土		火		金		金	災害体験者から学ぶ教室
7	火	安全指導	金		日		水	冬季休業日終	土		土	
8	水		土		月		木	始業式	日		日	
9	木		日		火	安全指導	金	給食始	月		月	
10	金		月	水泳指導始	水		土		火	安全指導	火	安全指導
11	土		火	安全指導	木		日		水	建国記念の日	水	
12	日		水	避難訓練(二次避難)	金		月	成人の日	木		木	
13	月	スポーツの日	木		土		火	安全指導	金		金	
14	火		金	学習発表会(児童鑑賞日)	日		水		土		土	
15	水		土	学習発表会(保護者鑑賞日)	月		木	避難訓練	日		日	
16	木		日		火		金		月	水泳指導終	月	
17	金		月	振替休業日	水		土		火		火	
18	土	運動発表会	火		木		日		水		水	
19	日		水		金		月		木		木	
20	月	振替休業日	木		土		火		金		金	春分の日
21	火		金	個人面談始	日		水		土	学校公開 防災デー	土	
22	水		土		月		木		日		日	
23	木		日	勤労感謝の日	火		金	薬物乱用防止教室(5)	月	天皇誕生日	月	給食終
24	金		月	振替休日	水	給食終	土	ひのっ子作品展始	火	振替休業日	火	卒業式
25	土		火		木	終業式	日	ひのっ子作品展終	水		水	修了式 離任式
26	日		水		金	冬季休業日始	月		木		木	春季休業日始
27	月		木	小学校連合音楽会(6)	土		火		金		金	
28	火		金	個人面談終 小学校連合音楽会(6)	日		水		土		土	
29	水		土		月		木				日	
30	木		日		火		金	学校公開日			月	
31	金	校外学習(4)			水		土				火	